

令和元年度 薬学生のための

薬剤師・教員用

# 飛騨高山 実地研修

地域医療の  
現場を学ぶ



令和元年 **8月17日(土)・18日(日)**

**【メイン会場】 飛騨・世界生活文化センター**

【協力施設】 高山赤十字病院、JA岐阜厚生連久美愛厚生病院、飛騨市民病院、下呂温泉病院、  
須田病院、高山市・下呂市・飛騨市の保険薬局

【参加費】 7,000円 (1日目 5,000円、2日目 2,000円)

共催：岐阜県病院薬剤師会飛騨ブロック、飛騨市薬剤師会、下呂市薬剤師会

後援：(一社)岐阜県薬剤師会、(一社)飛騨高山大学連携センター、(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会

【お問い合わせ】 須田病院薬剤部 定岡邦夫 TEL:0577-72-2100 E-mail:pharmacist@suda-hos.com

# 飛騨の地域医療

## 地域医療・薬薬連携の地 飛騨高山

### 観光地・飛騨高山の地域医療

飛騨地域は、高山市、飛騨市、下呂市、白川村の3市1村からなります。白川村は世界遺産の白河郷合掌造り集落があり、下呂市には日本三名泉の下呂温泉があります。高山市・飛騨市の古い町並みはロケ地として利用されることが多く、高山祭や古川祭も有名です。近年では外国人観光客も多く訪れています。



このように観光地を多く抱えた飛騨地域ですが、どれほどの広さであるかご存知でしょうか。実は、高山市は東京都とほぼ同じ面積で、飛騨地域は隣接する富山県とほぼ同じ面積です。観光地の中にも人々の生活があるのは、想像に難しくないかと思えます。この広い飛騨地域を我々薬剤師がどのように支えているのかを見ていただきたいと思います。



### 病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の始まりは下呂市から

今では、全国各地で行われている薬薬連携。この取り組みを全国で一番始めに行ったのは下呂市でした。薬薬連携は、患者により良い治療を行うために、広い飛騨地域の患者をフォローしていくために必要と考え、現在、下呂市だけでなく飛騨地域全体で精力的に取り組んでいます。病院薬剤師と薬局薬剤師で密に連携を取り、情報の共有や課題の改善を行い、より良い医療を目指しています。



下呂温泉病院



JA岐阜厚生連 久美愛厚生病院

本研修も薬薬連携の一つと言えます。医療提供施設がどのように連携して、地域住民の健康・生活を支えているかを実際に見て学ぶ機会は少ないのではないのでしょうか。この研修は、多施設が協力して行っているのが特徴です。是非この研修で、地域医療の全体像を捉え、その中でどのように薬剤師が働いているのかを知っていただければと思います。

# 本研修会の特徴

- 飛騨医療圏の特色である薬薬連携を学べる。
- 地域・僻地医療を支える薬剤師、各領域の薬剤師の果たす役割を知れる。
- これからの地域医療について学び、考える。
- 老若男女活躍する飛騨の病院薬剤師、薬局薬剤師の実際の声を聞ける。

## タイムテーブル

8月17日 (土)

11:10~11:40

オリエンテーション

11:40~12:40

研修会 I

13:00~17:00

飛騨医療圏の施設見学

高山駅に集合した後、会場まで送迎いたします。



ランチョンセミナーです。飛騨地域に根ざす薬剤師が、どのような思いで患者と向き合い、その役割を果たしているのかをお伝えします。また、どのような未来を見据えて、地域医療に取り組んでいるのかをお話します。

実際に自分の目で見てみよう。



17:15~18:15

薬局・病院薬剤師とSGD

18:20~19:25

ワークショップ

19:40~21:15

懇親会

飛騨地方で活躍する薬剤師と直接ディスカッション!



学生と働く薬剤師とで目指すべき薬剤師像について語ろう。

薬剤師としてだけでなく、地方出身者や移住者としてもざっばらんにお話します!そして、飛騨高山には美味しい食材や料理がたくさん!飛騨牛も!

8月18日 (日)

8:45~10:55

研修会 II

11:10~12:10

特別講演

12:30~14:15

終了会

見学では行けなかった施設の薬剤師の働きもお伝えします。

市立敦賀病院の荒木隆一先生が、福井県における地域医療のお話、また、日本のこれからの見据えた地域医療のお話をしてくださいませ。学びが深まること間違いなしです。

研修修了後は、高山駅まで送迎いたします。

研修終了後はお帰りの時間まで高山観光を楽しむのも◎



## ①：飛騨市の地域医療を学ぶ

飛騨市民病院 → なごみ薬局 → 老人保健施設 たかはら

飛騨市の医療施設、介護施設を見学していただくコースです。飛騨市の高齢化率は38%を超え、特に飛騨市民病院のある神岡町では45%を超えています。このような地域の住民をどのように医療面で支えていくのが課題であることは度々聞いていても、実際に見学するような機会は少ないのではないのでしょうか。このような地域で、薬剤師がどのように働いているのかをご紹介します。



なごみ薬局

飛騨市民病院

## ②：高山市の地域医療を学ぶ

JA岐阜厚生連久美愛厚生病院 → 高山赤十字病院  
→ 介護老人保健施設 はなさと → いたう薬局

高山市は飛騨地域の中心地となる市です。高山赤十字病院、久美愛厚生病院はともに地域の基幹病院である病院です。いたう薬局は近隣の病院の処方を受けており、幅広い疾患を扱う薬局です。はなさとでは、介護施設で薬剤師に何ができるのかをご紹介します。

広域な地域の様々な疾患を持つ患者をどのように支えているかを見ていただきます。



いたう薬局

高山赤十字病院

## ③：精神科も含めた地域・医療連携を学ぶ

須田病院 → 介護老人保健施設 アルカディア  
→ ゆう薬局 → JA岐阜厚生連久美愛厚生病院

このコースでは施設間連携、薬薬連携に加え精神科での薬剤師の働きを見ていただきます。須田病院は精神科病院であり、その道向にあるのがゆう薬局です。地域医療という切り口だけでなく、専科病院など専門性の高い領域では、薬剤師がどのような役割を果たせるのかお伝えします。



アルカディア

須田病院

以上の3つのコースより第2希望までお選びいただきます。  
希望人数によっては、コースの振り分けを抽選とさせていただきます。

## 地域・僻地医療に根ざす薬剤師とは何かを考える

飛騨市、下呂市、高山市の薬局薬剤師や病院薬剤師が、それぞれのグループで自らの病院での取り組みや地方で働く実情を話します。そして、皆さんからの率直な質問にお答えしたり、ご意見をもとに互いに考えを深めたりする時間に行いたいと考えています。

- ① 飛騨市古川地区で  
築き上げた薬局間連携

ひだ薬局（飛騨市薬剤師会）

- ⑦ 地域唯一の緩和ケア病棟を持つ  
病院の薬剤師としての役割

JA岐阜厚生連久美愛厚生病院

- ② 山間部県境地域の病院と  
院外処方箋応需薬局の現状

飛騨市民病院  
なごみ薬局（飛騨市薬剤師会）

- ⑧ 地域基幹病院における  
薬薬連携の取り組み

高山赤十字病院①

- ③ 薬薬連携発祥の地の  
下呂地区の現状

下呂薬局（下呂市薬剤師会）

- ⑨ 薬剤師による  
災害医療支援の取り組み

高山赤十字病院②

- ④ チーム医療への参画と  
地域貢献

県立下呂温泉病院

- ⑩ 実際に働いてどうなの？  
若手薬剤師が語る本音！！

高山赤十字病院③

- ⑤ Iターン薬剤師が  
何故、僻地に薬局を…？

荘川薬局（高山市薬剤師会）

- ⑪ 岐阜県内の中小病院の  
現状と薬剤師業務の実際  
岐阜県病院薬剤師会中小病院委員会

- ⑥ 在宅医療における認知症・  
統合失調症患者への服薬支援

高田サンキュー薬局（高山市薬剤師会）

- ⑫ 岐阜県内の精神科病院の  
現状と薬剤師業務の実際

岐阜県病院薬剤師会  
精神領域研修委員会

以上の10グループから第3希望までをお聞きした上で、振り分けさせていただきます。希望人数によっては、すべての希望を叶えられない場合がございます。ご了承ください。

# 特別講演

## 「地域・僻地医療に根ざす薬剤師とは ～私が考える目指すべき薬剤師像～」

講師 日本病院薬剤師会 理事 地域医療委員会 委員長  
市立敦賀病院 医療支援部 部長

荒木 隆一 先生



### 荒木隆一先生のご略歴

2014年から市立敦賀病院 薬剤部部長を5年間務められた後、今年より市立敦賀病院 医療支援部部長にご就任されました。

また、現在、日本病院薬剤師会 理事 地域医療委員会 委員長の他、日本病院薬剤師会 中小病院委員会 委員、福井県病院薬剤師会 副会長、福井県薬剤師会 理事としてもご活躍されています。

## 地域連携事例集 (Vol.1)

昨年、日本病院薬剤師会によって作成された地域医療事例集(Vol.1)では、全国の医療施設の中から5施設の地域連携の取り組みを紹介しています。その1施設として、須田病院の取り組み例、飛騨地域での医療連携を紹介していただきました。

よろしければ、以下のURLよりご一読ください。

地域医療事例集(Vol.1) : <http://www.jshp.or.jp/cont/18/0705-1.pdf>

## 参加登録方法

下記のQRコードを読み取り、参加登録フォームをご入力いただき、参加登録をしてください。



薬剤師・教員用

QRコードを読み取れない方は、以下のURLよりご入力ください。

<https://forms.gle/RiVUsVpbTU5Tr6DW7>

学生用の登録フォームとは異なりますのでご注意ください。

参加登録完了のメールが送信された時点で登録完了です。

名簿を確認した後、担当者がメール致しますので、数日お時間を頂く場合がございます。

メールがない場合は、恐れ入りますが、お問い合わせください。

参加登録方法が分からないなどご質問がございましたら、メールにてご連絡ください。

申込締切：**7月12日(金)13時まで**

※参加費は当日受付にてお支払いいただきます。

※宿泊費については、参加登録フォームをご覧ください。

【担当者】須田病院薬剤部 定岡邦夫

【お問い合わせ】 TEL：0577-72-2100 E-Mail：[pharmacist@suda-hos.com](mailto:pharmacist@suda-hos.com)